

2022年9月14日

## 輸送動向について（2022年8月分）

### 1. 輸送概況

コンテナは、新型コロナウイルス感染症に伴う需要低迷に加えて、北海道・東北・北陸地区を中心に大雨により一部不通区間が生じたものの、前年に山陽線等が不通となっていた反動により、農産品・青果物を除く全ての品目で前年を上回った。なお、不通となった奥羽線について、船舶・トラックによる代行輸送を実施した。

積合せ貨物は、2021年10月からのブロックトレイン運転開始等により前年を上回ったほか、食料工業品は、清涼飲料水を中心に前年の輸送障害の反動増となった。化学工業品、化学薬品及び自動車部品についても、前年の輸送障害の反動により増送となった。

一方、農産品・青果物は、前線停滞による各地区大雨に伴い一部不通区間が生じた影響により前年を下回った。コンテナ全体では前年比112.3%となった。

車扱は、石油が新型コロナウイルス感染症の影響緩和によりガソリンを中心に需要増となったほか、前年に中央西線が不通となっていた反動により前年を上回った。車扱全体では前年比110.8%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比111.8%となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,280	1,141	112.3%	7,329	7,408	98.9%
車 扱	653	589	110.8%	2,939	2,842	103.4%
合 計	1,933	1,730	111.8%	10,267	10,250	100.2%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	77	91	-14	85.1%
	化学工業品	114	95	19	119.9%
	化学薬品	90	76	14	118.7%
	食料工業品	199	178	21	111.5%
	紙・パルプ	155	153	2	101.0%
	他工業品	95	82	13	116.8%
	積合せ貨物	227	188	39	120.7%
	自動車部品	49	32	17	153.1%
	家電・情報機器	25	18	7	141.6%
	エコ関連物資	32	31	1	102.2%
	その他	217	196	21	110.5%
コンテナ計	1,280	1,141	139	112.3%	
車 扱	石油	433	386	47	112.0%
	セメント・石灰石	114	115	-1	98.6%
	車 両	64	57	7	111.1%
	その他	43	31	12	140.5%
	車 扱 計	653	589	64	110.8%
合 計	1,933	1,730	203	111.8%	

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)